

2015年2月期

**株式会社ジーフット
決算説明会**

2015年4月9日

■営業利益・当期利益は公表達成

■ローコストオペレーションの徹底により、営業利益は前年比23.3%増の55億7百万円

単位：百万円

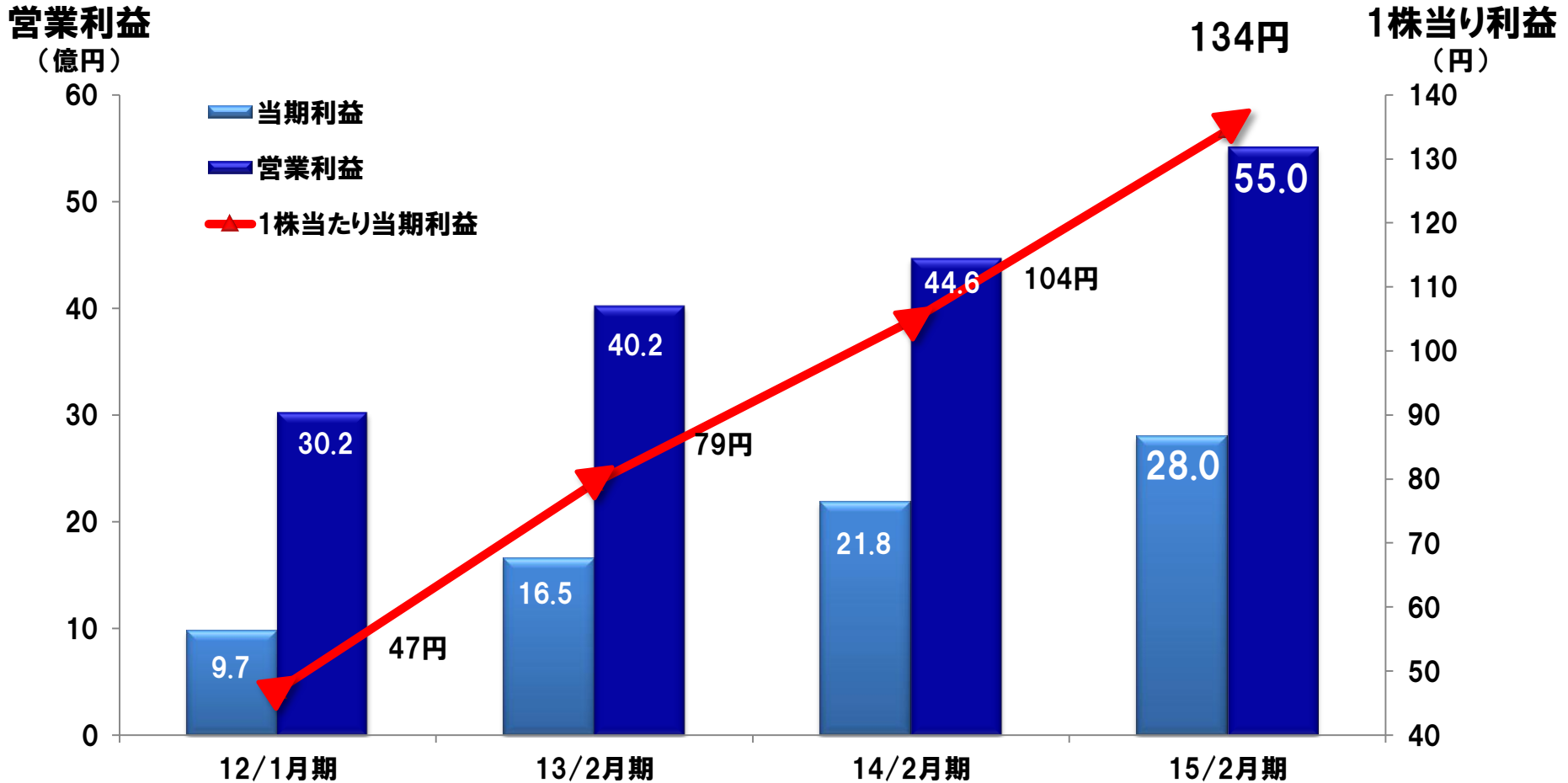
	15/2月期	前年比	前年差	公表差
営業収益	103,467	105.2%	5,097	-3,532
売上総利益	47,563	107.6%	3,351	-
営業利益	5,507	123.3%	1,041	+7
経常利益	5,465	123.6%	1,041	-14
当期純利益	2,801	128.4%	620	+301
1株当たり当期純利益	134.49円/株	-	29.79円増	14.46円増

当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定し比較しております。

売上高1,000億突破	売上高1,034億円と前年比5.2%増
新店の拡大	2014年度店舗数は、出店99店舗、退店24店舗 期末店舗数は810店舗
PB比率向上と荒利益率の改善	PB比率34.9%と前期比5.9%改善。 荒利益率は前期比1.1%改善し46.0%へ
新規ブランド取得	Lee, コールマンに続き、Keds, Pro-Keds、ディッキーズ、 パトリックコックスと新たにライセンス契約
インバウンドの対応	免税対応店舗の認可を151店舗取得
株主数の増加	株主数は2月末日現在で3,141名 期首から2,498名増加
新体制の発足	コンプライアンス、ガバナンス態勢の整備 営業・商品・現場力強化のために専任体制

営業利益・当期利益の推移

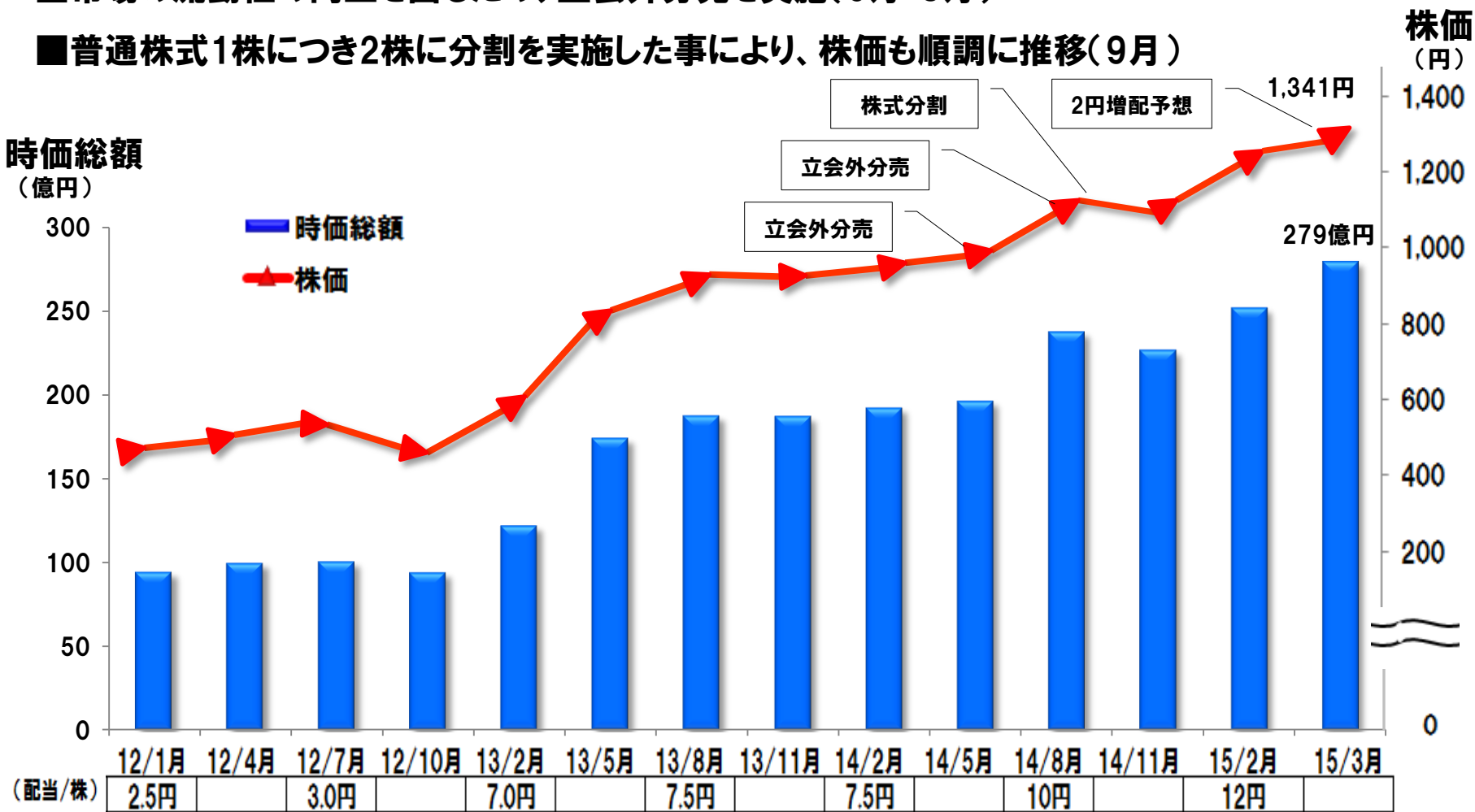
- 1株あたりの当期利益は順調に増加
- 当期利益が公表数値を上回ったことにより2円増配予想
- 当期純利益は4期連続増益



株価・時価総額の推移

■市場の流動性の向上を図るため、立会外分売を実施(5月・8月)

■普通株式1株につき2株に分割を実施した事により、株価も順調に推移(9月)



当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。各事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「配当金/株」を算定しております。

■流動資産431億円のうち341億円は商品で積極的な出店により期首に比べ22億円増加

■営業活動によるキャッシュフローは、期末の2月28日が土曜日のため、売上預け金が20億円増加

■ROEは14.2%(前期比1.7%増)

貸借対照表

単位:百万円

	15/2月期	期首差
流動資産	43,113	4,036
商品	34,175	2,201
預け金	4,144	2,018
固定資産	14,893	-349
資産合計	58,007	3,687
流動負債	34,592	783
固定負債	2,355	358
純資産	21,059	2,544
負債・純資産合計	58,007	3,687

キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	15/2月期	前年差
営業活動による キャッシュフロー	△2,203	-810
投資活動による キャッシュフロー	△1,084	290
財務活動による キャッシュフロー	3,085	640
現金及び現金同 等物の増減額	△202	120
現金及び現金同 等物の期首残高	2,561	-323
現金及び現金同 等物の期末残高	△2,358	202

2016年/2月期 重点取組み事項

新たなPB商品の開発

■付加価値商品の開発や商品展開を推進

■ケツズ、ディッキーズ、パトリックコックス等を加え、PB比率の更なる向上を推進



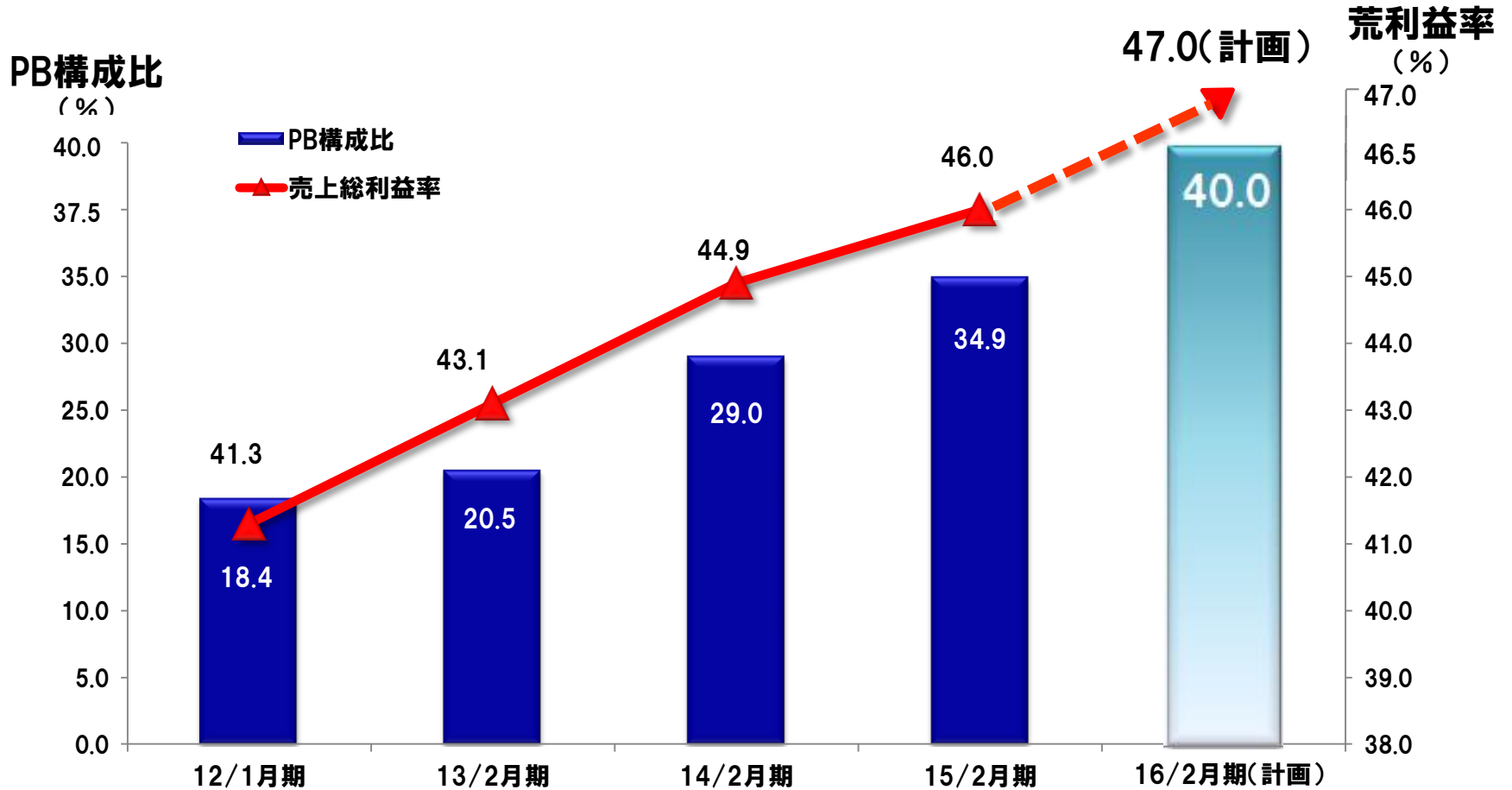
PB構成比の向上

- ・スニーカーブームへ更なる対応
- ・カジュアル化への対応

PB構成比・売上総利益率

■ 自社ブランドを中心に拡大、PB構成比は今期40.0%(前年比5.1ポイント増)

■ 売上総利益率はPB構成比の向上にともない、今期47.0%(前年比1.0ポイント増)

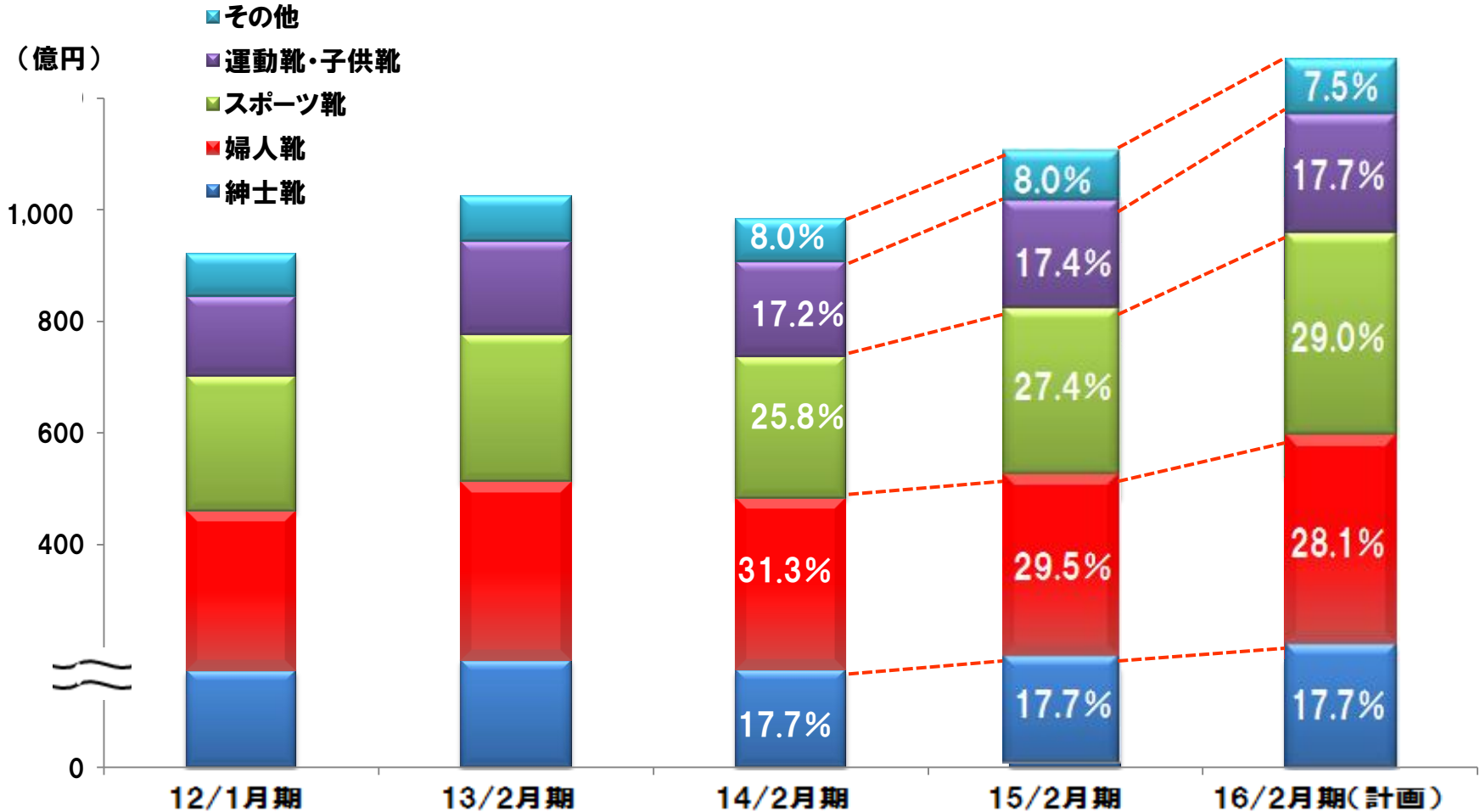


* 売上総利益率のグラフにおいて、16/2月期は計画のため、点線でグラフを表示しております。

商品部門別 売上

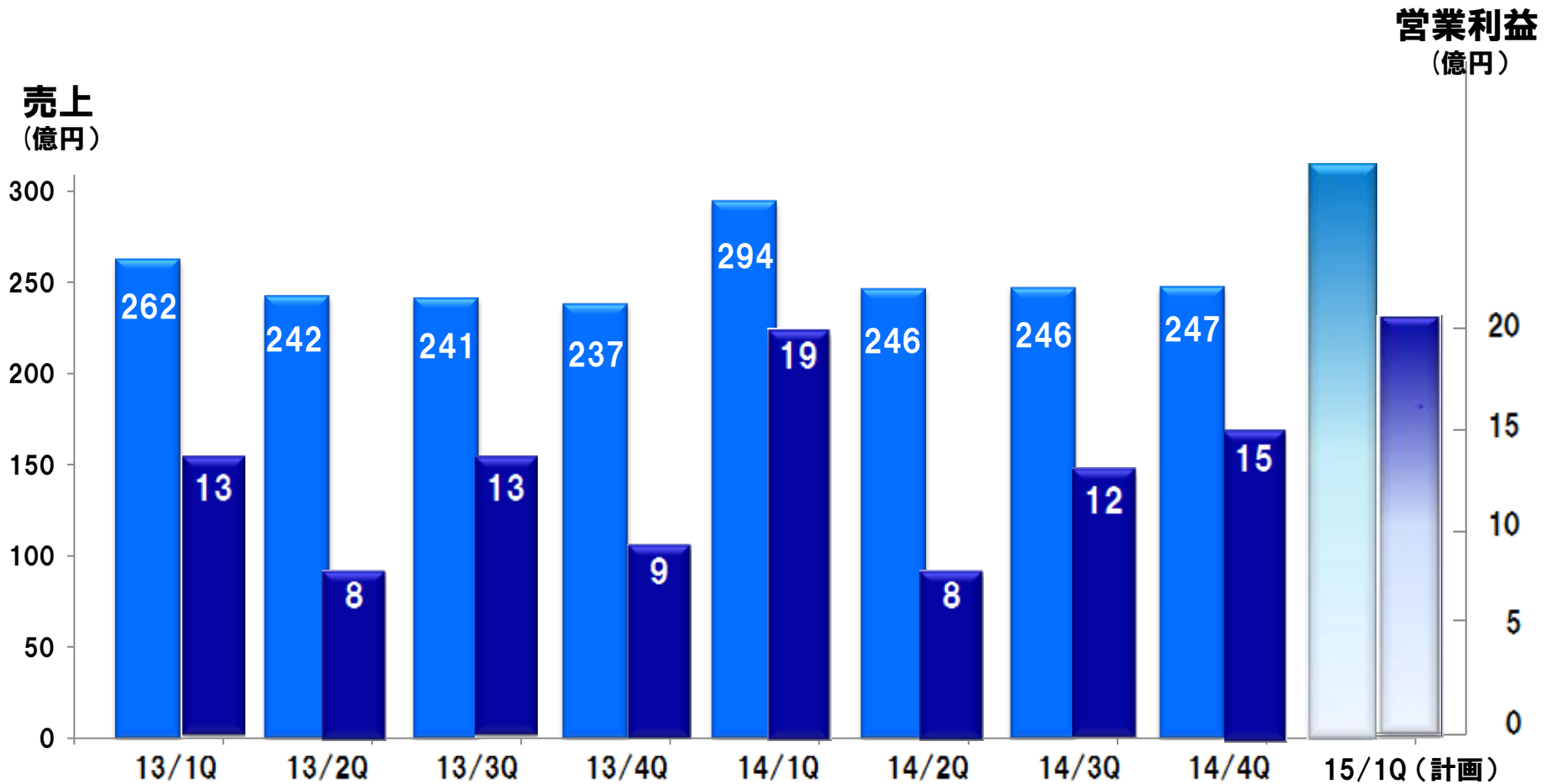
■ スニーカーやスポーツの構成比を上げ、カジュアル化に対応

■ 当社の強みでもある婦人・シニア・子供を中心にシェアを更に拡大



四半期売上・営業利益の推移

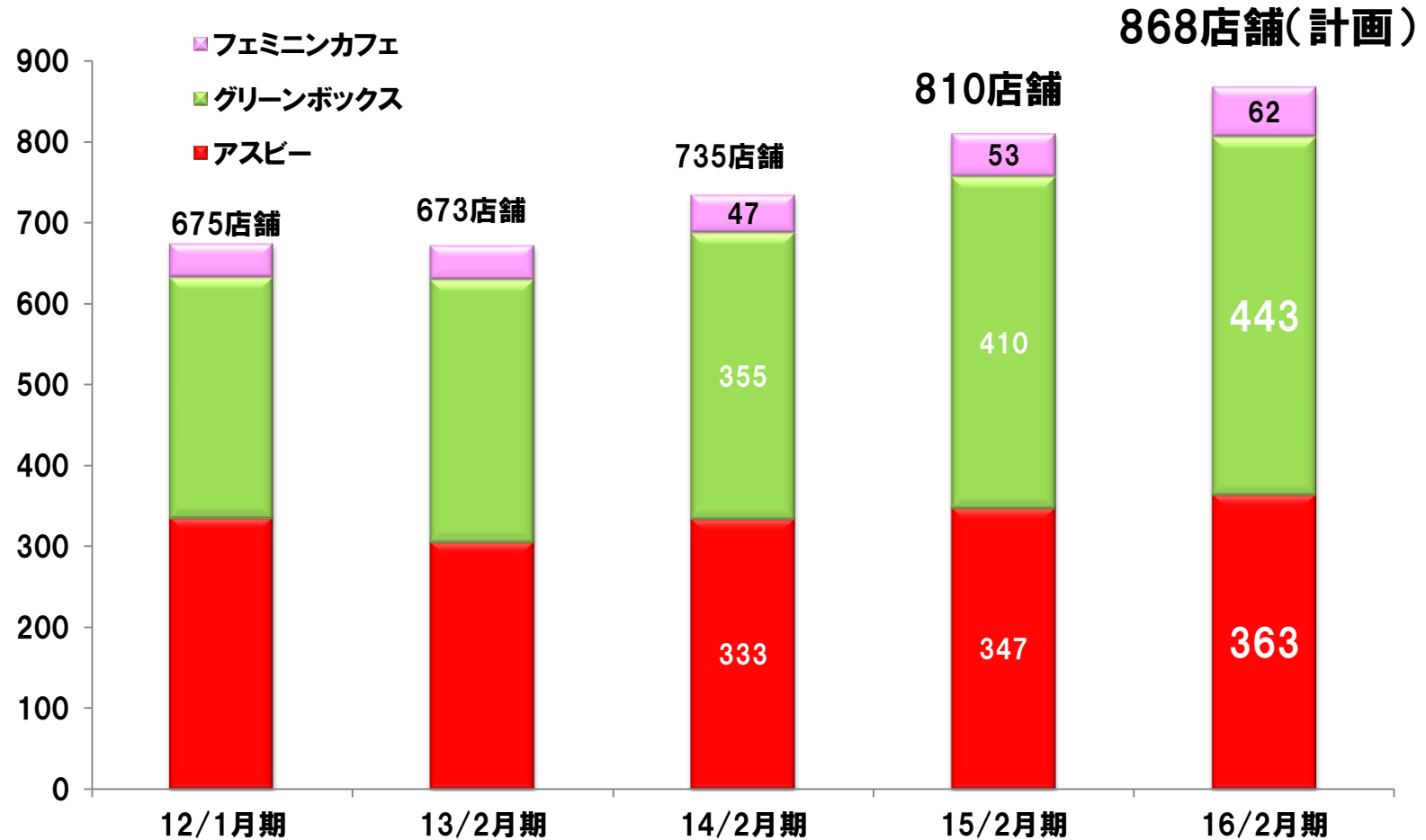
■3月度は全規模前年比83.0%(一昨年比108.1%)、4月に入り好調に推移



店舗数の推移

- グリーンボックスは前年に比べ55店舗増、アスピーは14店舗増、フェミニンカフェは6店舗増
- 2016/2月期はグループ外への出店も積極的に推進し、新規出店70店舗を計画

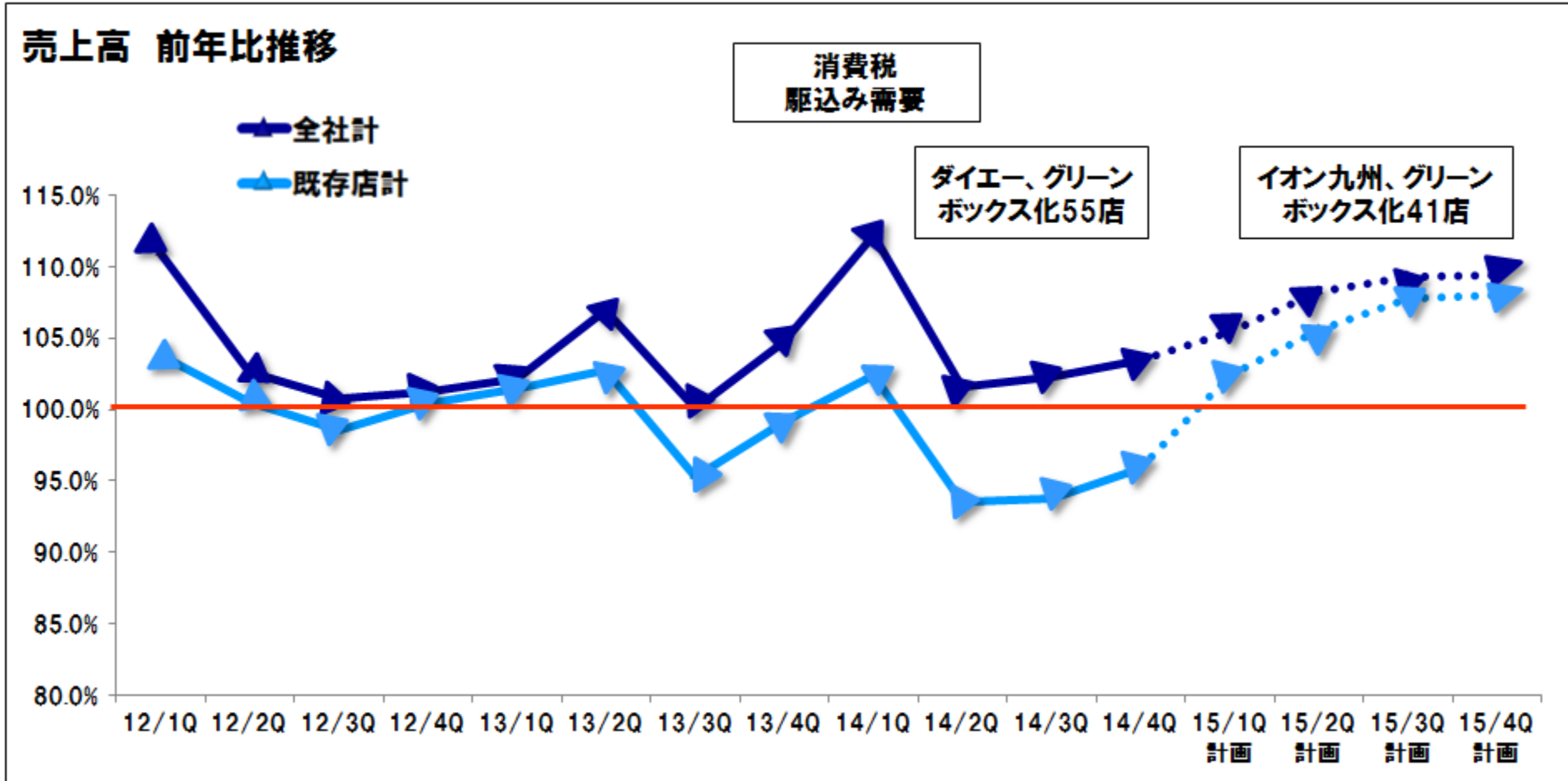
(店舗数)



改装・活性化の推進

■前期ダイエー55店の集中出店が全社売上に貢献、今期は既存店売上に嵩上げ見込み

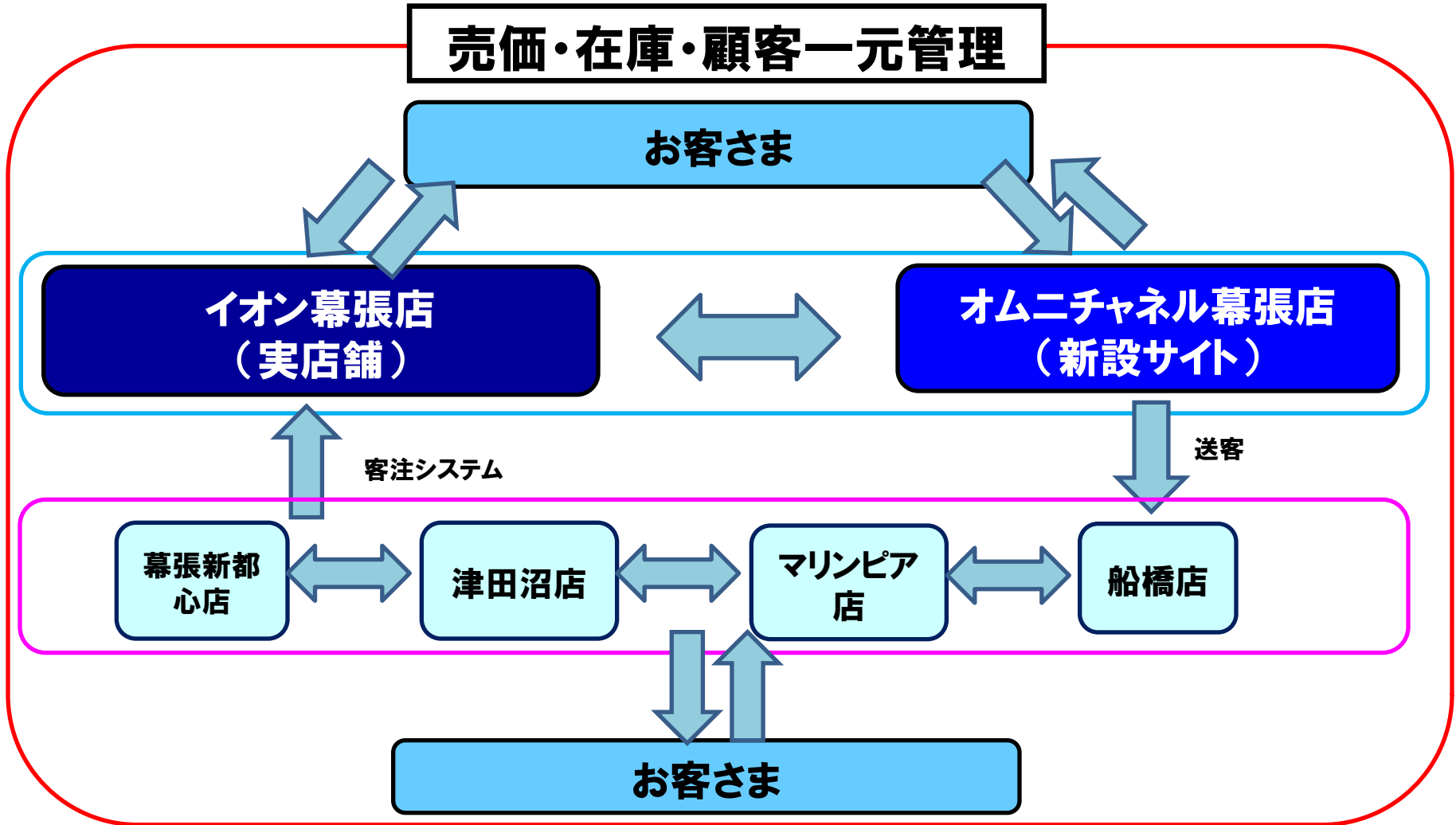
■今期は50店舗の改装(前期23店舗)、投資額3.4億円を計画



*売上高前年比推移のグラフにおいて、15/1Q~15/4Qは計画のため、点線でグラフを表示しております。

オムニチャネル化の推進

■2015年4月下旬、イオン幕張店にて総面積800坪、首都圏最大の品揃えにてオムニチャネル化を実験



現場力の強化

- フィッティングアドバイザー制度の活用により現場力の向上を図る(資格保持者は2,194名)
- タブレット端末の活用によるウィークリーマネジメントの徹底、成果事例の水平展開
- 足型計測器の配置により、顧客サービスを強化(全国289店舗に設置)

フィッティングアドバイザー資格制度



当たって痛いところはありませんか？



成果事例の水平展開

靴履いたイメージ、陳列で

グリーンボックス羽生店



手作りの切り絵などで季節感を演出している (埼玉県羽生市)

手作り装飾で季節感演出

- ▼店名 グリーンボックス羽生店
- ▼主な商品 婦人靴、紳士靴、子供靴など靴全般
- ▼所在地 埼玉県羽生市川崎2の281の3イオン羽生店内

生じ、時間を空費しかけた際もこの基本に立ち返って乗り切った。店舗は巨大ショッピングセンター「イオンモール羽生」とつながる。最初目にする、「ギャラリ」と呼ぶ一角には「足型計測器」が設置されている。通路

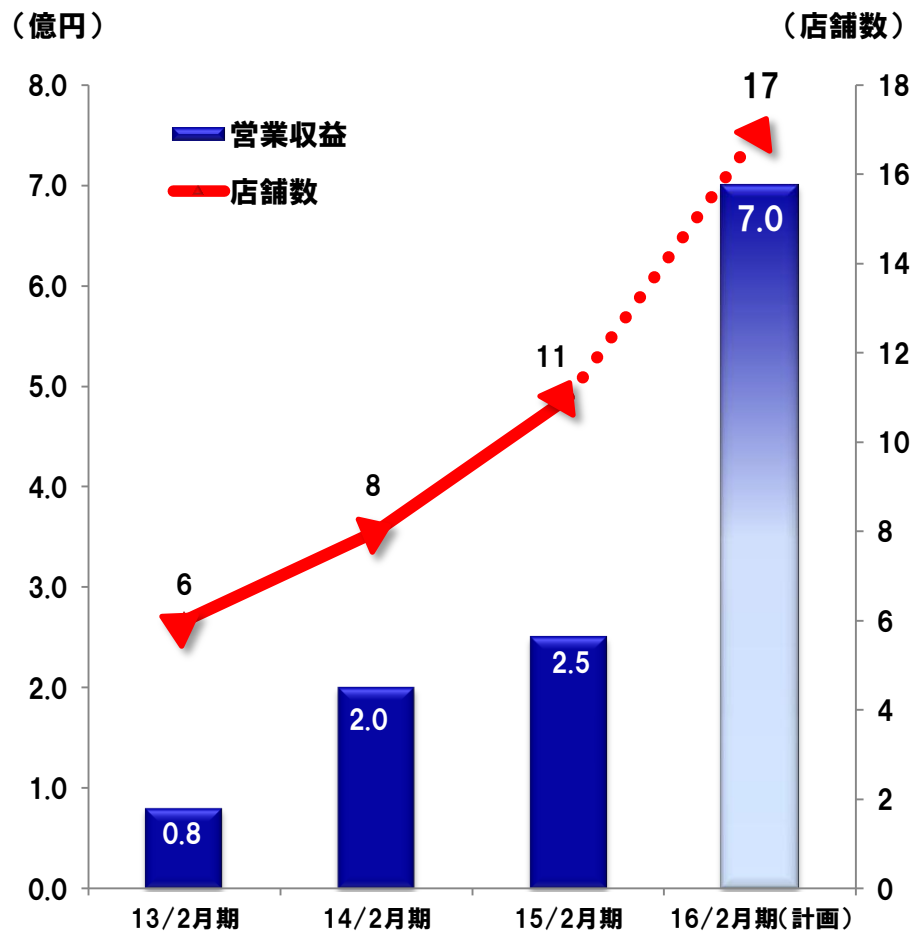
の回遊時に目に留めてもらい、店内へと誘導するか。遠くからの見た目に知恵を絞った経験が生きた。

足型計測器の活用



(日経MJ誌掲載)

営業収益・店舗数



*店舗数の推移のグラフにおいて、16/2月期は計画のため、点線でグラフを表示しております。



蘇州：吳中出店（4月オープン）



アスピー・アスピーキッズ武漢出店（12月オープン）

- PB開発力の強化と出店を推進し、増収増益を目指します
- 年間30円の配当予想(前期より8円の増配)

単位:百万円

	中間	前年比	年間	前年比
営業収益	56,000	103.6%	107,500	103.9%
営業利益	3,100	112.9%	6,100	110.8%
経常利益	3,050	110.9%	6,050	110.7%
当期純利益	1,700	108.3%	3,150	112.4%
1株当たり当期純利益	81.62円/株	6.24円増	151.23円/株	14.46円増

予想	中間	期末	年間
1株当たり配当金(円)	15円/株	15円/株	30円/株

当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定し比較しております。

本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。